

山本覺馬 （山本覺馬） 薩長藩士。文政十一年一月十一日薩長國津生乳
 明治二十五年十一月二十八日歿（六二六―六三二）。諱良晴、初名義衛。號
 相遠齋。父は藩統術師範山本權八。藩實の新館に入り、長じて馬槍
 劍の達した。嘉永六年江戸に出、佐久間象山、江川坦庵の西洋砲術を、
 大木茂敏の蘭學を學び、自ら藩統術を發明した。歸藩後日新館教授、
 軍事情報提兼大砲頭取を務め、藩實の洋學所を設けた。元治元江藩主
 松平容保の隨行として上洛、禁門の變に功を擧げた。鳥羽伏見戦には捕
 へられると、「管見録」を薩摩藩主に提出、その草論を以て釋放せら
 れ和蘭を以て、維新後京都府府顧問、明治十二年初代府會議議長、また商
 工會議所會頭となる。これより數の八年、新島襄の同き社英學校創設に
 盡力、翌年妹八重が京都の最初のキリスト教式を以て新島と結婚し
 た。

著書の英名の訳を以て『THE GUIDE TO THE CELEBRATED PLACES IN
 KYOTO & THE SURROUNDING PLACES』(1873. KYOTO. PUBLISHED BY N
 IWA. 複製版・昭和十一年ヤマノ大日本ステーション製造株式會社)。

